

議員定数削減、見送りへ。 2月議会決着なるか。

残念なことに、12月議会中に決着するかと思われた定数削減問題が2月議会へと持ち越しになってしましました。長らく最大会派の具体案が出されないため、議論に入れなかった議会でしたが、漸く定数54（現行64／現在は合併特例で71）という大胆な提案があり、議論が動き出しました。これを受け、民主党を含む各会派（現状維持派の共・自治ネを除く）は54にまとまる努力を行い、議論に臨みました。しかし、多数の合意が確認されているはずの議論で、なぜか議運委員長からは先送り決定が。削減実現に向け行動を共にしてきた各会派からは、最大会派のやる気に強い疑問が出されました。なかなか実現が厳しくなった定数削減ですが、市の財政を考えると、実行あるのみと高木は考えています。

政治倫理の議論は決裂。

前回選挙で逮捕者が出たさいたま市議会として、「逮捕拘留中の議員の報酬支払停止」に対応する条例を作るべきではないかとのことで、約3年にわたり政治倫理特別委員会にて議論が行われてきました。しかし、定数問題同様、こちらも各会派がまとまる中、2年以上にわたって議論を引きのばしてきた最大会派から「わが会派は提案がまとまらない、ということでまとまつ」との最終報告がなされ、決裂しました。3年の努力を無にする無責任な態度に憤りを禁じえませんが、何とか2月議会での打開の道を探りたいと思います。

12月議会報告

①障害者自立支援法への市独自補助策、決まる

障害者の皆さんからの署名・請願もあり、9月議会で質問が相次いだ障害者自立支援法に対するさいたま市の独自補助が遂に決定しました（補正予算／23,069千円）。利用者負担の半額助成や通所施設の運営安定化支援など、市の一定の努力が図られました。まだ十分ではありませんが、市の対応を評価とともに、市民パワーが市を動かした結果としても注目したいと思います。

②盆栽5億円へのレール？ ----新しい基金できる

マスコミ報道が先行したものの、議会には具体的な説明のなかった盆栽5億円購入問題。12月議会で質問され、執行部は「購入を検討しているものの、決断はしていない」と答えていますが、一方で議案として、ちょうど5億円になる基金が提案されました。この「さいたま市文化財産等取得基金」は「さいたま市文化振興計画」を実行する為の基金との説明でしたが、議会では盆栽を市民の目から隠したところで密かに購入する為のレールなのではと話題になりました。基金自体は認める上で議決がなされましたが、今後の展開を注視する必要があります。高木は質問で、そもそも基金の持つ問題と可能性について指摘をし、市民の目に見える運営と、文化づくりを市民が支えられる基金の仕組みについて提案しました。

高木まり市政報告会・プロジェクトミーティングのお知らせ

市の様々なことを高木からご報告させていただくとともに、会場の皆さんから自由にご意見やご質問をいただく会です。当日ぶらりとご参加ください。

- とき 1月28日(日) 午後2時30分～4時30分
- テーマ 「さいたま市の未来をどう作るべきか」
- ところ 宮原町2丁目会館

当日連絡先：048-654-2559（高木事務所）

※これまでと会場と時間が変更になっておりますので、御注意ください。

※終了後に、近くのお店「田吾作」にて新年会を行います。ぜひ、ご参加ください。



ボランティアを募集しています。

高木まりの活動は、ボランティアの皆さんによって支えられています。朝の街頭での市政報告活動、ポスティング、郵便物の発送作業など、お手伝いいただきたいことが日に日に増えています。皆様のお力を少しでも貸して下さい。一日だけ、数時間だけ…大歓迎です。ご連絡お待ちしています。（048-654-2559まで）